

年暮れぬわが墓欲しき早雲寺

藤田湘子

平成十七年、湘子先生の逝去後、箱根の早雲寺へは二度墓参りをした。初めての時は、誰に案内された訳でもないが、寺の墓域を進んでいたら何となくそれらしい墓を見つけ、青螭螂が居たことが印象に残っている。また、連歌師、宗祇の墓があることも初めて知った。

湘子先生がこの寺（臨濟宗大徳寺派）を選んだ詳細は知らない。しかしいつだったか、生前、望んでいた寺に墓を持てたと、どこかで聞いた記憶がある。

還暦を過ぎ、誰か知人の葬儀があり、急に墓が欲しくなったのかもしれない。その思いをそのままストレートに俳句に詠んだところが出色であり、「早雲寺」の下五から連想される歴史物語が一句に厚みを持たせている。

1987年（SG2作）第九句集『前夜』 鑑賞・轍郁摩